



皆さんが、より楽しく、より豊かに生活するために役立つ身近な情報を、毎月お届けします

森林や緑に関する国民的な緑の祭典「全国育樹祭」が平成27年秋、揖斐川町谷汲地域で開催されます。「全国植樹祭」で天皇后陛下がお手植えされた木を皇太子同妃両殿下がお手入れされる行事で、岐阜県での開催は初めてです。岐阜県は、森林が県土の約80%を占め、その森林を源とする清流が、県内をあまねく流れている「清流の国」です。第39回全国

- 育樹祭をきっかけに、豊かな環境・資源・文化を育む森林をつくるため、森林の循環利用を進めるとともに、水源林や里山林など多様な森林づくりを進める「100年先の森林づくり」に取り組めます。

●問／全国育樹祭推進事務局
☎058(272)8465

詳しくは [第39回 全国育樹祭](#) [検索](#)



▲昭和天皇によるお手植えの様子(昭和32年)



▲お手入れ会場現在の様子

大会テーマ
～手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来～

大会テーマには岐阜県に大きく広がる自然の豊かさを、日本の将来を担う子どもたちへつないでいくという思いがこめられています。先代から受け継いだ森林を守り育て、活用する知恵や技術を深化させ、次の世代へ引き継ぐ取り組みを県民総参加で進めます。



開催時期 平成27年秋

開催行事

●お手入れ行事[揖斐郡揖斐川町谷汲]
昭和32年、第8回植樹祭で、昭和天皇、香淳皇后がお手植えされた樹木をお手入れする、森林を育て、次の世代に引き継ぐことを象徴する行事を行います。

●式典行事[谷汲緑地公園]

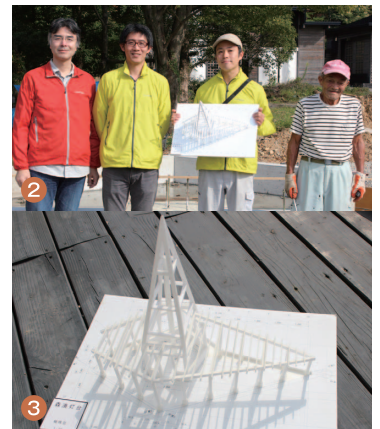
森林の育成や林業の発展に貢献した個人・団体の表彰、緑の少年団の活動発表、アトラクション、大会宣言等を行います。

◆参加者…約5,000人(予定)

「清流の国」モニュメント制作 岐阜県立森林文化アカデミー(美濃市)

森林文化アカデミーでは学生が、岐阜県で受け継がれた技術を使い、「清流の国」モニュメントを制作しています。現在、関市内の技術者平田一(かずいち)さんから指導を受け基礎工事を進めています。伝統技術者から若手技術者へ、技術が伝承されています。

- 心柱(しんばしら)には樹齢約60年のヒノキを使用
- 左から辻充孝さん、福田賢(まさる)さん、上野浩一さん、平田一さん。「若手に教えることで自分の技術も衰えることがない。若い人はやる気があるし、楽しいですよ」と平田さん
- モニュメントの名称は「森湊灯台(もりみなとどうだい)」。人が集まり相互交流をはかれる場所、川の湊のようににぎやかな場になるように設計されました



県内各地で行われる主な1年前イベント(11月)

10月から11月にかけて1年前イベントとして県内各地において全国育樹祭PR、森の恵みを体験できるイベントなどを開き、森や木と触れ合う機会を提供します。

木育キャラバン



ぎふの木のおもちゃあそびや森や木にふれあう体験プログラムがあります

場所 東美濃ふれあいセンター[中津川市茄子川]

参加費 無料 問合せ 県恵みの森づくり推進課



058(272)8472

徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦



徳山ダム上流のコア山に栗、コナラ、トチなどの実のなる木を植えます

場所 通称「コア山」[揖斐川町開田]

参加費 無料 問合せ NPO法人揖斐自然環境レンジャー



0585(23)1111
[内線462]

可児市里山の日



散策、記念植樹などを体験。採れた素材でつくる味噌汁が振る舞われます

場所 我田(わがた)の森[可児市久々利]

参加費 無料 問合せ 可児市環境課



0574(62)1111
[内線3402]

県では「第39回全国育樹祭」応援行事を募集しています。平成27年11月30日(月)までに開催する学習や活動、イベントなどが対象です。育樹祭の開催を一緒に盛り上げましょう。詳しくは第39回全国育樹祭岐阜県実行委員会まで

☎058(272)8465



「岐阜県森林づくり運動キャラクター」
「あすはちゃん」

「清流の国ぎふ」
「マスケットキャラクター」
「ミナモ」